

家庭科学習のガイダンスとしてのA(1)「自分の成長と家族」の扱いはどうすればよいか。

- 第4学年までの学習を踏まえ、家庭生活や学校生活を振り返ることを通して、これまでの自分の成長を実感するとともに、2学年間の家庭科学習の見通しや家庭科学習への意欲を持たせるように、適切な題材を工夫して、第5学年の最初に学習させる。この内容は、A～Dまでの内容項目と関連させて学習することで、学習を通して成長した自分を自覚するなど、2学年間の学習全体を貫く視点となるので、学期や学年の区切りなどに他の項目と関連させた題材を構成すると効果的である。

第5学年の最初に行う家庭科のガイダンスにおいては、自分の成長とそれを支えてくれている家族の大切さに気付かせる。生活するために必要なことを考えさせ、その中で、小学校に入学してからできるようになったこと、家族に助けをもらっていることなどを実感させる。

[例]

洗濯，食事づくり，買い物など

[指導の工夫]

第5学年の最初に子どもたちのノートに、生活するために必要なことを考えさせ、その中で、小学校に入学してからできるようになったこと、家族に助けをもらっていることなどを記入させ、学期や学年ごとの区切りで追加記入をさせるとよい。